

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和3年9月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:102)
2. 調査実施時期 令和3年9月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:91社 / 回答率:89.2%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
R2.12	-5	-2	-10	-	-	-
R3.3	-	-40	-40	-37	-	-
R3.6	-	-	-47	-56	-51	-
R3.9	-	-	-	-43	-43	-41

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
当年	148,160	144,450	134,141	-	-	-
(前年)	152,805	193,380	204,586	195,021	148,160	144,450
対前年比	97%	75%	66%	-	-	-

(概況)

製品受注は引き続き旺盛なため、現状、原木在庫は前年に比べ少なく、引き続き前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木不足/品薄状態が続く/国有林システム材で年内は安定的な入荷/原木の買い意欲が強く高値/今後の集荷に不安/原木搬入状況良い/原木の品薄傾向の改善は期待できず

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
R2.12	-67	-71	-58	-	-	-
R3.3	-	-37	-17	-5	-	-
R3.6	-	-	63	54	40	-
R3.9	-	-	-	78	64	25

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
当年	192,692	187,454	217,936	-	-	-
(前年)	221,166	181,768	186,163	176,723	192,692	187,454
対前年比	87%	103%	117%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年を上回る。製品受注は引き続き旺盛だが、輸入材の動向が不透明で、年明け以降の見通しが立てづらい状況。

(回答企業の主なコメント)

旺盛な注文は年内続く/得意先の注文だけで生産限界/人手・原木不足で注文を断ることも/製品の流通量不足/年明け以降は輸入材の状況次第であり不透明/ウッドショック前に戻る可能性あり

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
R2.12	-21	-21	-29	-	-	-
R3.3	-	-37	-49	-51	-	-
R3.6	-	-	-47	-58	-53	-
R3.9	-	-	-	-26	-46	-44

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
当年	229,770	242,886	206,179	-	-	-
(前年)	218,757	254,518	284,076	279,855	229,770	242,886
対前年比	105%	95%	73%	-	-	-

(概況)

製品受注は引き続き旺盛なため、現状、原木在庫は前年に比べ少なく、引き続き前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木調達に苦労/合板用材・燃料材と競合/不足状態継続中/去年は多かった/積極的に集材/輸入材不足で需要増/運材車不足で入荷少量/注文が出始めたため原木不足を懸念

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
R2.12	-65	-71	-51	-	-	-
R3.3	-	-20	10	10	-	-
R3.6	-	-	80	73	44	-
R3.9	-	-	-	76	76	45

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9	2021.10-12	2022.1-3
当年	224,155	222,949	247,874	-	-	-
(前年)	258,304	226,947	204,668	203,342	224,155	222,949
対前年比	87%	98%	121%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年を上回る。製品受注は引き続き旺盛だが、輸入材の動向が不透明で、年明け以降の見通しが立てづらい状況。

(回答企業の主なコメント)

継続的な受注/原木不足で注文を断る状況が続く/受注増は年内続くも年明け以降は輸入材次第/注文は多いが生産余力なし/全道的な原木不足で需要への対応困難/製品需要回復

道内の木材需給の見通し（令和3年9月調査分）

—令和3年10月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

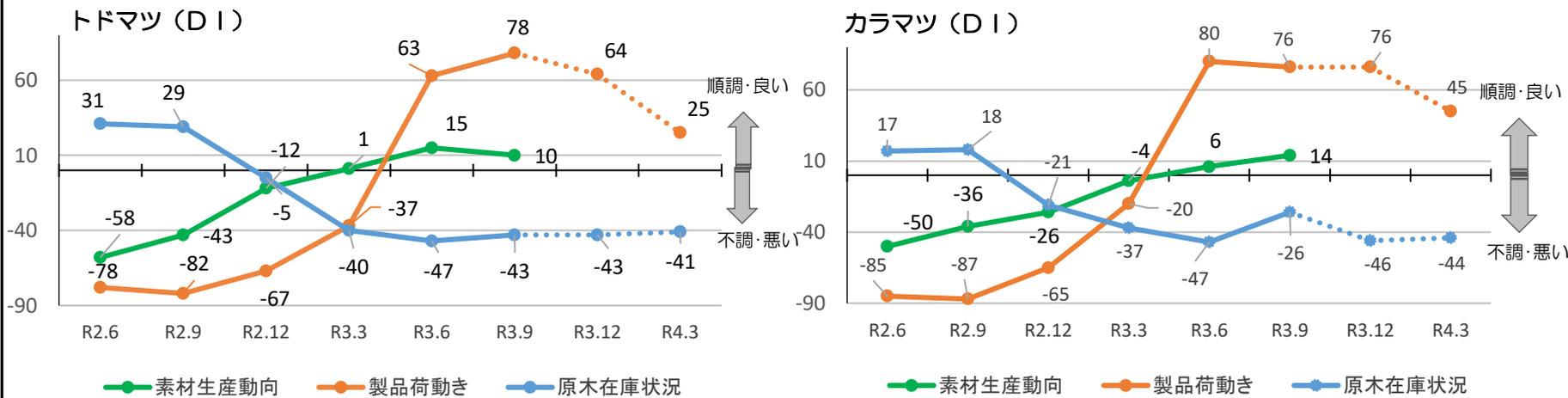
	《7~9月》	《10~3月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を下回っており、10月以降も前年を下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を大きく上回り、10月以降は前年を大きく上回る見通しも下降傾向。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は減少傾向で前年を下回っており、10月以降も前年を下回る見通し。	
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を大きく上回り、10月以降は前年を大きく上回る見通しもやや下降傾向。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《7~9月》	《10~3月見通し》		《凡例》
トドマツ			○「素材生産動向」は「順調」30%、「並み」56%、「不調」14%となっており、順調の見通し。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○「素材生産動向」は「順調」35%、「並み」50%、「不調」15%となっており、順調の見通し。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

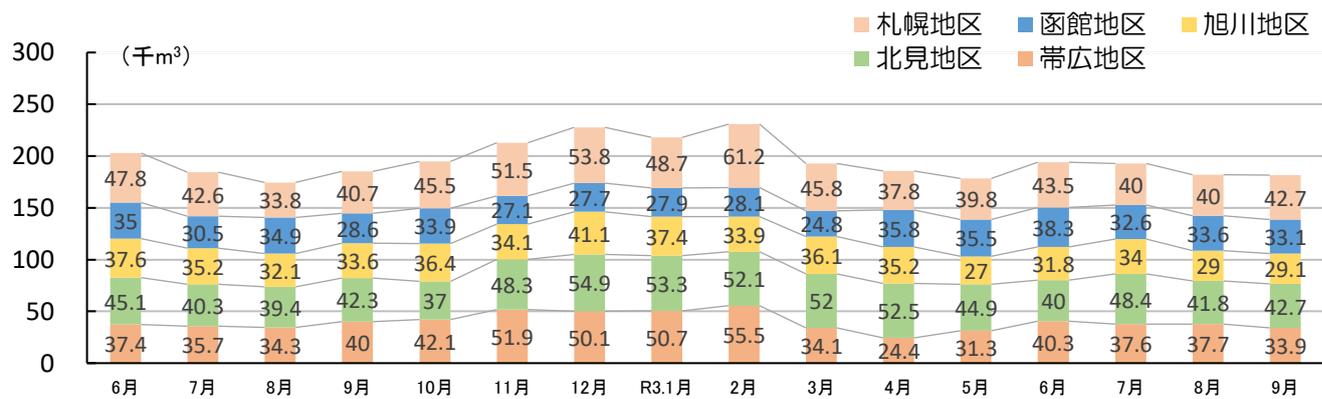


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

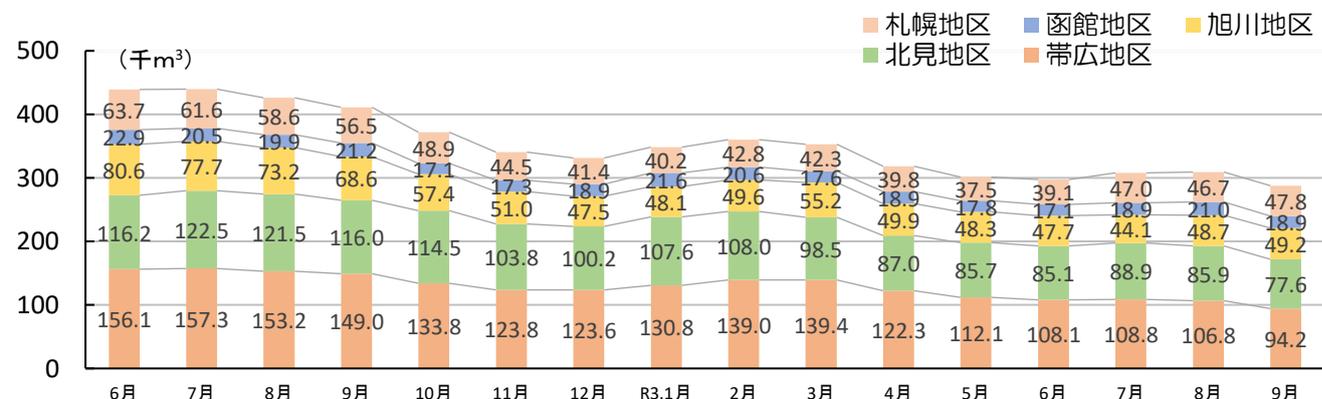
- 9月の素材生産量は前月比0.6千m³減の181.5千m³
- 10月の素材生産量は0.9千m³減の182.4千m³の見通しで、旭川・北見以外の地区で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

- 9月のトドマツ原木在庫量は前年同月に比べて少なく、原木消費量は前年同月を上回る見込み
- 9月のカラマツ原木在庫量は前年同月に比べて少なく、原木消費量は前年同月を上回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR3.7~9月は速報値でエゾマツを含む

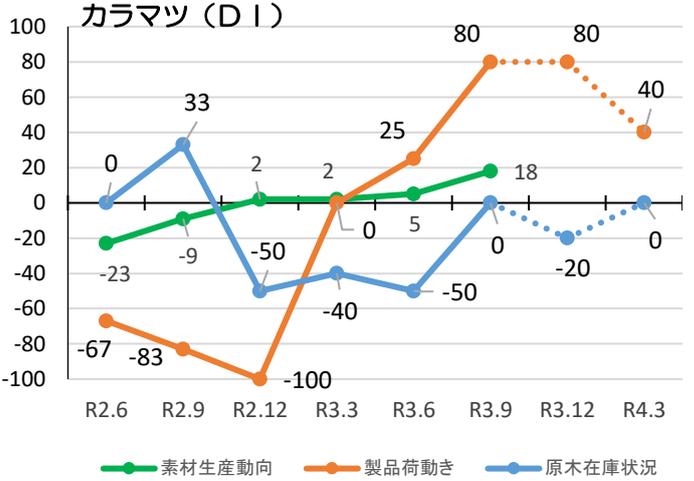
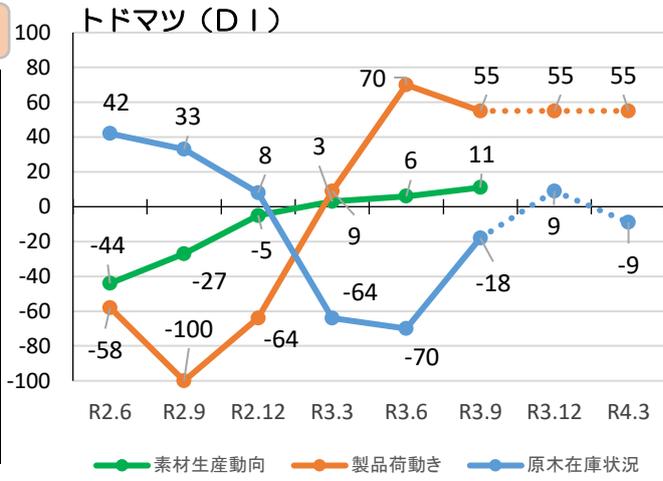
素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

【トドマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を若干下回り、製品荷動きは前年を大きく上回る見通し

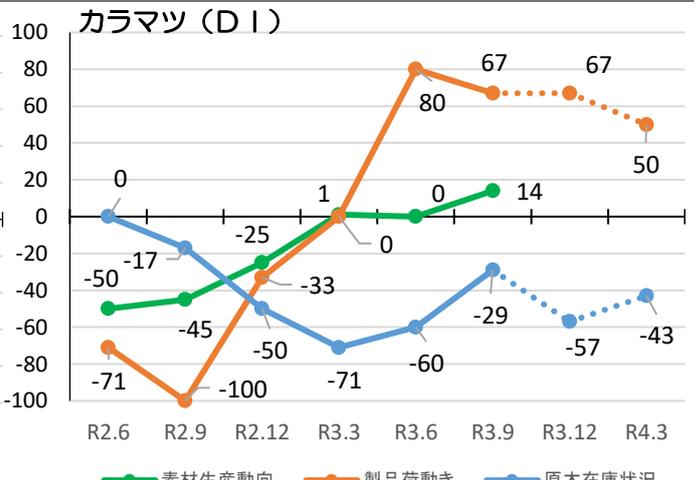
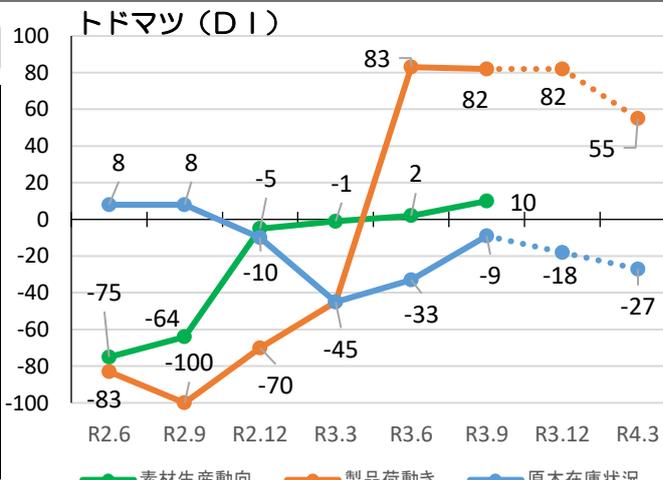
【カラマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を若干下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し



函館地区 (渡島・檜山・後志)

【トドマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し

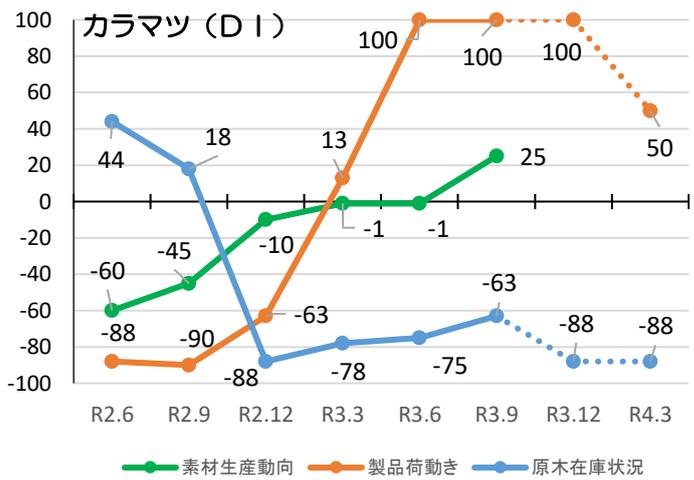
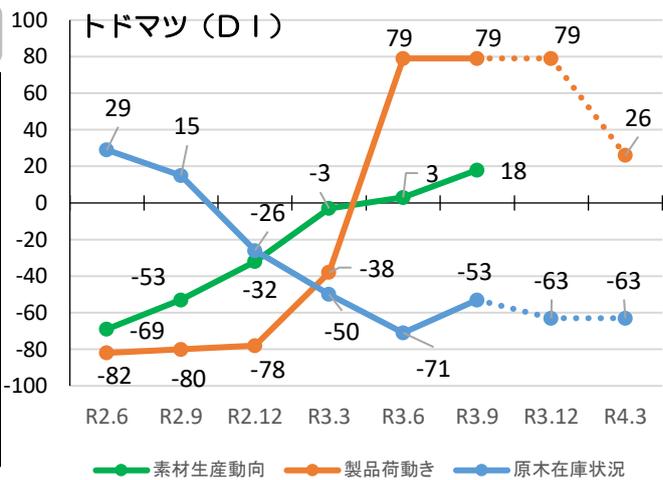
【カラマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し



旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

【トドマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し

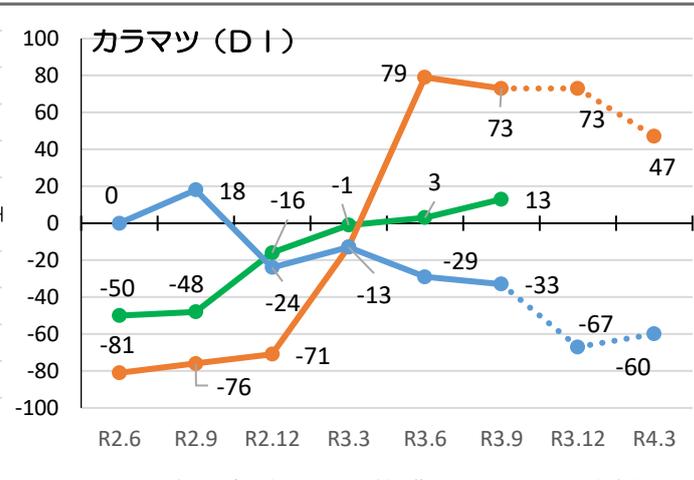
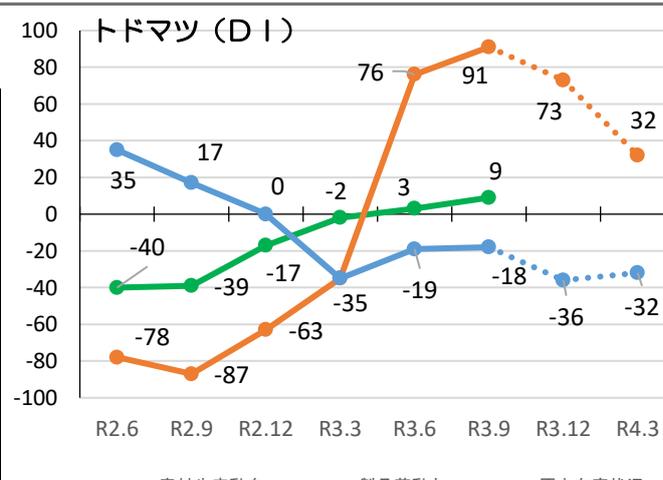
【カラマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し



北見地区 (オホーツク)

【トドマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し

【カラマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

【トドマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回るも大きく下降の見通し

【カラマツ】
 ・素材生産は、順調の見通し
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を大きく上回るも下降の見通し

